



応募書類の作成について

応募者は、所定の応募様式にしたがって様式1に記入し、事務局に2部提出して下さい。様式2、添付資料、プレゼンテーション用資料は予備選考で選考委員会に上申された場合に説明する資料ですので、事務局の連絡に従って提出して下さい。書式様式は、日本鍛圧機械工業会ホームページ（会員ページ）からダウンロードできます。

①(様式1) 応募に関する基本情報(応募の際に提出)

- ・成果の題目加工製品、成果の題目(内容)、各要素の役割と寄与
- ・応募者情報・応募案件の概略 等

②(様式2) 応募内容の詳細説明(事務局からの上申決定通知後に提出)

- ・応募案件の詳細(技術的独創性及び新規性、経済性・市場性への貢献、労働環境・地球環境向上への貢献)・知的財産権・表彰歴・研究論文やメディア紹介 等

③ 添付資料

成果の概要(様式1)並びに成果の詳述(様式2)を補足する写真・図面類、カタログ、論文、記事等の公表情報を添付してください。対象加工製品の写真及び鍛圧機械のカタログ・写真は必須です。なお、審査により受賞した案件の写真は、ニュースリリースやパネル作成等で使用します。

④ プレゼンテーション用資料(上申案件のみ)

選考委員会で説明する場合の資料です。PowerPoint等のスクリーン資料やビデオ等の動画、加工製品現物(サンプル)を含みます。

応募製品の訴求について(様式1は簡潔にアピール、様式2は詳述しアピール)

応募者は、応募時に①技術的独創性および新規性 ②経済性、市場への貢献 ③労働環境、地球環境向上への貢献以上の3つの項目について、応募段階の(様式1)では、簡潔に、上申決定後の(様式2)では詳述しアピールしてください。3つの項目に濃淡があっても構いませんが、特に高い評価に

値すると考えられる“光る要素”について、その成果を明確に記述してください。

応募様式の記入例を用意しましたので、参考にしてください。

※日本鍛圧機械工業会ホームページ(会員ページ)からダウンロードできます。

注記

(1) 応募時の確認事項について

応募者は、応募時点において次の項目を確認してください。

- ①応募提出書類の内容に間違いや虚偽・不正がないこと。
- ②応募することあるいは受賞後の内容公表について、関係者全員の了承を得ていること。
- ③応募内容に関する特許権等知的財産権に関して、関係者との調整が完了していること。
- ④その他、応募対象および内容がMF技術大賞の趣旨に適合していること。

予備審査までに確認できない場合および応募者からの辞退申し出があった場合は、応募を取り消すことができるものとします。

(2) 個人情報等の取扱いについて

選考委員および事務局員は、機密保持を遵守します。また、選考審査が一部の利害に偏ることなく公正かつ公平に遂行されるよう倫理的に行動するものとします。応募頂いた企業情報および個人情報は、審査および表彰の目的以外では使用しません。提出された書類(原本)および関係物品は全て応募者に返却します。

(3) 運営上の制限事項

日鍛工会長(贈呈者)会社および技術委員長(選考委員会副委員長)会社、予備審査部会会社も応募可能ですが、委員は自社の応募案件について意見を述べることもおよび評価・選考に参加できないものとします。



- MF技術大賞には表彰盾と賞金100万円を、MF技術優秀賞には表彰盾と賞金20万円を授与します。受賞製品パネルをMF-TOKYO 2025で展示します。
- 発表は2024年12月で、表彰式を2025年1月に行います。
- 応募期間：2024年4月1日～7月31日必着



一般社団法人 日本鍛圧機械工業会
〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8
TEL.03-3432-4579
FAX.03-3432-4804

お問い合わせは

(日鍛工会員名や連絡先等のご記入にご利用ください)

鍛圧機械3つのコラボ

MF-TOKYO 2025 MF-TOKYO 2025 第8回プレス・板金・フォーミング展



MF エコマシン認証制度



MF 技術大賞

MF技術大賞

人と地球にやさしい技術、持続可能な未来を築く

応募要項 (応募期間:2024年4月1日～7月31日必着)



主催

■ 一般社団法人 日本鍛圧機械工業会

特別協賛

■ 一般社団法人 日本塑性加工学会

■ 一般社団法人 日本金属プレス工業協会

■ 一般社団法人 日本鍛造協会

■ 一般社団法人 日本金型工業会

MF技術大賞

「MF技術大賞」は、Metal Forming (MF) に不可欠な鍛圧機械、製品加工と研究などの要素を組み合わせた、プレス・板金・フォーミング機械の世界最高級の大賞です。

鍛圧機械の良さを最終製品の良さを証明するため、機械メーカーと加工メーカーなどの「ものづくり総合力」を発揮されたグループを表彰し、鍛圧塑性加工技術の発展に寄与することを目指します。

MF技術大賞 応募概要

- 7要素を効率的に組み合わせて創出した、鍛圧機械の「ものづくり総合力」。
- 高精度・高生産性並びに安全・環境性を顕著に有するトータルでエコな製品製作の成果。



※ 2社2要素以上で応募。「鍛圧機械」と「製品加工」は必須

2024-2025 応募要項

MF技術大賞制度 運営スケジュール (予定)

● MF技術大賞応募期間 (2024/4/1 ~ 7/31)

製品加工メーカー・鍛圧機械メーカー等が応募代表者となる会員企業と応募

● 応募内容確認期間 (2024/4/1 ~ 7/31)

日鍛工が応募内容を確認

● 受賞候補を選出 (2024/10)

予備審査部会で受賞候補を選出

● 受賞者の決定 (2024/11or12)

選考委員会で受賞者の決定、理事会の承認

● 表彰式 (2025/1)

賀詞交歓会に併設する表彰式にて表彰盾・賞金の贈呈

● 受賞製品展示: MF-TOKYO 2025

受賞製品パネルを MF-TOKYO 2025 に展示

■ 応募期間

2024年4月1日~7月31日

日本鍛圧機械工業会 事務局 必着。

■ 応募方法

日本鍛圧機械工業会会員が応募代表者となり、応募案件を満たすと判断したら応募案件の構成要素をとりまとめて所定の応募書類様式に記入し、日本鍛圧機械工業会事務局に2部提出してください。

※ 応募書類様式は日本鍛圧機械工業会ホームページ(会員ページ)よりダウンロードできます。

※ 作成方法の概要を最終ページに記載します。

HP <https://j-fma.or.jp>

■ 表彰対象/応募製品の条件

鍛圧機械等(レーザ切断機、プラズマ切断機を含む)を使って加工した製品で、次の内容を満たすものとします。

- 1 技術面での独創性、新規性を有し、産業界の発展および労働環境・地球環境向上への貢献の観点からトータルで顕著な成果をあげていることが第一条件となります。
- 2 「鍛圧機械」と「製品加工」を必須とし、「研究」「素材」「金型」「システム」「製品組立」等も選択出来ます。応募は2社2要素以上が必要です。但し、1社1要素とは限定しません。
- 3 対象となる加工製品は、生産開始後概ね10年以内であり、販売実績(試作品を除く)を有することとします。現在も生産中か否かは問いません。
- 4 海外からの技術導入、助成金や補助金を受けて研究・開発したもの、他の表彰を受けたもの等の如何は問いません。

■ 応募料金

「MF技術大賞」への応募は無料です。

■ 選考方法

- 1 予備審査部会において内容確認、評価・受賞候補の選考を行います。
- 2 予備審査の結果を受けて下記掲載の委員からなる選考委員会で最終選考を行い、理事会において承認し決定します。
- 3 工場等の現地審査は行いません。

■ MF技術大賞

原則3件以内を表彰いたします。賞金はそれぞれ100万円です。

■ MF技術優秀賞

原則3件以内を表彰いたします。賞金はそれぞれ20万円です。

■ MF奨励賞

今後MF技術大賞およびMF技術優秀賞に値する事が期待される案件を表彰します。

■ 発表/表彰状の贈呈/受賞製品の展示

- 1 「MF技術大賞」「MF技術優秀賞」は会長名で各応募者に通知するとともに、関係各紙にニュースリリースを発信し、日本鍛圧機械工業会ホームページおよび会報「METAL FORM」で公表します。
- 2 表彰盾および賞金の贈呈は、2025年の賀詞交歓会に併設する表彰式において実施します。
- 3 「MF技術大賞」「MF技術優秀賞」は事務局にて受賞製品パネルを作成し、表彰式とMF-TOKYO 2025において展示します。

■ 主催

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会

特別協賛

- 一般社団法人 日本塑性加工学会 ● 一般社団法人 日本鍛造協会
- 一般社団法人 日本金属プレス工業協会 ● 一般社団法人 日本金型工業会

■ 応募書類の提出先/お問い合わせ先

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会 事務局
〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館3階
TEL.03-3432-4579/FAX.03-3432-4804 E-mail:info@j-fma.or.jp

MF技術大賞 2022-2023 受賞者・受賞製品

■ アイダエンジニアリング (株)
精密成形プレス UL シリーズ

■ 光工業 (株) (栃木県日光市)

受賞製品
UK プレスでプレス加工限界の16分の1を実現 (自動車用厚板フランジ部品)

■ (株) アマダ、(株) アマダプレスシステム
ナックルリンクプレス PDL-400

■ 高橋金属 (株) (滋賀県長浜市)

受賞製品
プレス金型内ねじ転造による
プラグねじの製造

■ (株) 放電精密加工研究所
直動式デジタルサーボプレス

■ 秋田エプソン (株) (秋田県湯沢市)

受賞製品
冷間鍛造プレスによる
プリンター用ヘッド部品の超精密板鍛造

MF技術優秀賞 2022-2023 受賞者・受賞製品

■ (株) アマダ、(株) アマダプレスシステム
デジタル電動サーボプレス SDE-1522 (SF)

■ (株) 大貫工業所 (茨城県日立市)

受賞製品
精密深絞りプレス加工複合化部品

■ (株) 阪村ホットアート
熱間フォーマー HFW-1300-4

■ (株) 置田鉄工所 (大阪府堺市)

受賞製品
テーパベアリングの
内外輪とギアブランクの製造

2022-2023年 MF技術大賞 受賞製品

UL プレスでプレス加工限界の16分の1を実現 (自動車用厚板フランジ部品)

受賞理由: プレス加工限界の16分の1を実現し、従来の2倍の生産性を達成。また、成形歪みを抑制し、製品の精度を向上させた。

1 対象要素: 鍛造機械、製品加工、金型

2 加工プロセスの概要: UK プレスを用いた厚板のプレス加工。従来のプレス加工では、厚板のプレス加工は、プレス機の種類や構造により、プレス加工の限界が10mm程度であった。しかし、UK プレスでは、厚板のプレス加工が可能となり、従来のプレス加工の限界の16分の1を実現した。

3 具体的な成果: 生産性向上とコストダウンの達成。従来のプレス加工では、厚板のプレス加工は、プレス機の種類や構造により、プレス加工の限界が10mm程度であった。しかし、UK プレスでは、厚板のプレス加工が可能となり、従来のプレス加工の限界の16分の1を実現した。

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会

2022-2023年 MF技術大賞 受賞製品

プレス金型内ねじ転造によるプラグねじの製造

受賞理由: プレス金型内ねじ転造によるプラグねじの製造を実現し、従来のねじ製造よりも高精度な製品を製造した。

1 対象要素: 鍛造機械、製品加工、金型、システム

2 加工プロセスの概要: プレス金型内ねじ転造によるプラグねじの製造。従来のねじ製造では、ねじの製造は、ねじ機を用いて行われていた。しかし、プレス金型内ねじ転造では、ねじの製造は、プレス機を用いて行われる。

3 具体的な成果: プレス金型内ねじ転造によるプラグねじの製造を実現し、従来のねじ製造よりも高精度な製品を製造した。

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会

2022-2023年 MF技術大賞 受賞製品

冷間鍛造プレスによるプリンター用ヘッド部品の超精密板鍛造

受賞理由: 冷間鍛造プレスによる超精密板鍛造を実現し、従来の板鍛造よりも高精度な製品を製造した。

1 対象要素: 鍛造機械、製品加工、金型、システム

2 加工プロセスの概要: 冷間鍛造プレスによる超精密板鍛造。従来の板鍛造では、板の鍛造は、鍛造機を用いて行われていた。しかし、冷間鍛造プレスでは、板の鍛造は、プレス機を用いて行われる。

3 具体的な成果: 冷間鍛造プレスによる超精密板鍛造を実現し、従来の板鍛造よりも高精度な製品を製造した。

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会

2022-2023年 MF技術優秀賞 受賞製品

精密深絞りプレス加工複合化部品

受賞理由: 精密深絞りプレス加工複合化部品を実現し、従来の部品よりも高精度な製品を製造した。

1 対象要素: 鍛造機械、製品加工、金型、システム

2 加工プロセスの概要: 精密深絞りプレス加工複合化部品。従来の部品では、深絞りプレス加工と複合加工は、別々の工程で行われていた。しかし、精密深絞りプレス加工複合化部品では、深絞りプレス加工と複合加工は、一つの工程で行われる。

3 具体的な成果: 精密深絞りプレス加工複合化部品を実現し、従来の部品よりも高精度な製品を製造した。

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会

2022-2023年 MF技術優秀賞 受賞製品

テーパベアリングの内外輪とギアブランクの製造

受賞理由: テーパベアリングの内外輪とギアブランクの製造を実現し、従来の製造よりも高精度な製品を製造した。

1 対象要素: 鍛造機械、製品加工

2 加工プロセスの概要: テーパベアリングの内外輪とギアブランクの製造。従来の製造では、内外輪とギアブランクの製造は、別々の工程で行われていた。しかし、テーパベアリングの内外輪とギアブランクの製造では、内外輪とギアブランクの製造は、一つの工程で行われる。

3 具体的な成果: テーパベアリングの内外輪とギアブランクの製造を実現し、従来の製造よりも高精度な製品を製造した。

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会

MF技術大賞 2024-2025 選考委員会

■ 委員長
柳本 潤
東京大学 機械工学専攻 教授

■ 副委員長
堀江 喜美雄
日本鍛圧機械工業会 副会長 兼 技術委員長
アマダ 顧問
アマダプレスシステム 代表取締役社長

■ 委員
久保木 孝
予備審査部会 部長
電気通信大学
機械知能システム学専攻 教授

■ 委員
桑原 利彦
東京農工大学 工学研究院
先端機械システム部門 教授

■ 委員
渡邊 政嘉
東京工業大学
環境・社会理工学院 特定教授

■ 委員
生田 周作
日本鍛圧機械工業会 専務理事